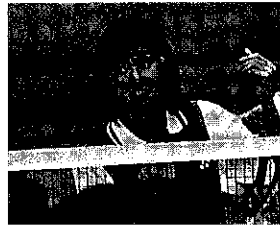


バドミントン YONEZAWA

平成十一年九月二十四日 発行 VOL.16 11号

陣内のプレーに沸く!!

—米沢バドミントン協会50周年記念— 陣内貴美子バドミントン講習会



平成11年5月29日、待ちに待った、陣内貴美子バドミントン講習会が、300人の入場者を得て、米沢市営体育館で行われた。

開講式で講師紹介及び講師あいさつが行われた後、高校生の部、一般の部に分かれての実技講習会がいよいよ始まった。それぞれの講習会のポイントを紹介していく。

『高校生の部』

①スマッシュ&レシーブ

☆スマッシュ

- ・打点は、ドロップショットよりさらに前。
- ・タイミングで打つ練習から始め、徐々に力を入れていく。

・打ったら、必ず前に出る。

☆レシーブ

- ・スタンスは肩より広めで、かかとの下にグリップが入る程度につま先立ちする。
- ・あまり力をいれず、タイミング良く。

②試合に向けての練習・試合の心構え

練習でも、試合と同じ気持ちで!!

☆ダブルスの練習

- ・自分の所に来ていない時の動きが大切。次にどこにシャトルが来るかを読みながら動く、早く動けるようになる。

☆試合前に行うこと

- ・体育館でクリアーを打って、体育館の高さ・広さ・見やすさをチェックする。試合をする体育館の情報をつかむ。

『一般の部』

①グリップの握りとフォーム

☆グリップの握り方

- ・人と握手をするような、包丁を持つときのような感じで握る。グリップと手の間に指が一本入るように握る。

☆フォーム（オーバースウィング）

- ・左手を上げて、相手に対して左足先はまっすぐ、右足先は直角にして、弓を引く様に。打つ時は、なるべく高い位置で、腕が耳の横を通る感じで。キャッチボールをする感じで。

②ロブ

- ・遠くまでシャトルを飛ばすには、右足はシャトルが来た方向に出して、手首を

使って上げる。左足は次の動きのために、必ずコートに残す。

③ドライブ

- ・ラケットは短めに持って、つま先に重心を置いて、体は正面で、右足を少し前にして打つ。打ったらすぐにラケットを戻して、次の動きにそなえる。

『Q&Aと陣内さんのあいさつ』

Q. オリンピックに出場するには?

A. 基本練習をしつかりする。人より多く走る。素振りをする。トレニングをする。人より勝ちたい!!という負けず嫌いの気持ちを持つことが大切。

Q. 試合中、うまくいかない時は?

A. シャトルがネットを越えないと何も始まらないので、ネットを越えるようにする。基本に戻る。相手は、リードしていると気を抜くことがある。それを見逃さない。我慢してれば、チャンスはある。

☆陣内さんのあいさつ

高校生は、シャトルが上がったら、全部スマッシュ。くらしいの気持ちで。一般の人達は無理なく打てるフォームを見つけること。無理のないフォームで打てることは、スムーズに動けることへとつながる。

今日見た中で、いい打点で打っている人、感覚のいい人達がいた。ぜひ、山形からナ

ショナルチームへ入れるような人がどんどん出て欲しい。

おわりに

実技講習と、5つのゲームを次々にこなしていった陣内さん。引退後7年ということをまったく感じさせない、キビキビとした動き。そして、ニコニコと笑顔を絶やさず、私達にたくさんのお話を教えて下さいました。講習会やインタビューの様子から、陣内さんの明るさと、前向きな姿勢を感じ、元気の素をもらったような気がしました。

(文責 黒沼ひろこ)

感謝

仁科盛信

5月29日の50周年記念事業に向けての打ち合わせが、3月から始まり、軽い気持ちで引き受けた実行委員長だったのですが、5月29日が近づくにつれ、事の重大さに気が付き、毎日胃の痛みを思いました。夜中に目が覚めればあとは眠れず、参加して下さる皆様に、満足していただけるものかと不安な毎日でした。

いよいよ当日、日本のトッププレーヤーであった陣内さんの説得力ある講習内容はさすがでした。参加して下さった皆様と忙しい中一生懸命協力して下さったスタッフに、好評のうちに終える事が出来た事を心から感謝申し上げます。



陣内貴美子さん

にインタビュー

Q1. バドミントンを始めたきっかけは？
お姉さんがやっていたから。

Q2. 小・中学生の練習のポイントは？
走り込むこと。平日は13キロ、土日は30キロ走っていました。

Q3. 高校生が強くなる秘訣は？
基本をしつかり。上がってきたシャトルは攻撃につなげること。

Q4. やめたいと思ったことは？
うまくいかない時はいつも。(でも、バドミントンが好きで、優勝すればまたやりたくなる。)

Q5. バドミントンの魅力は？
性格を素直に出せること。強気なら強気なプレーが出来るし、弱気なら弱気なプレーしか出来ない。

Q6. 精神面・集中力を鍛える方法は？
例えば、試合前夜に眠れないとしたら、眠らなくても勝てる力をつけるとか。

Q7. 引退後、練習していますか？
ほとんどしてません。

Q8. 健康のために気をつけている事は？
眠れる時に眠ること。

Q9. 正確なショットを打つためには？
集中力・根気・スタミナが必要。さらに体をシャトルの下に持つていくつまり、自分をシャトルに合わせること。

Q10. 世界レベルの試合での勝因は？
コンディション、運はもちろんですが、気持ちが一番大事。

Q11. 多忙な中でのリラックス法は？
友達と買い物。掃除。

Q12. これからの抱負は？
ジュニアを指導したい。



50周年記念大会

第1回 うこぎ姫

バドミントンフェスティバル

大会委員長 須藤 澄子

平成11年7月20日、南陽市民体育館で、第1回うこぎ姫バドミントンフェスティバルを行いました。

女性ばかり18歳から60歳まで、米沢はもとより県内外から14名の参加者があり、和気あいあいの中盛大に大会を開催することができました。これもひとえに、皆様のご協力のたまものと思っております。

また、多くの協賛をいただき、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

☆☆結果☆☆

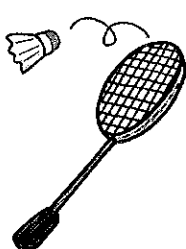
■期日 平成11年7月20日
■場所 南陽市民体育館

●20歳代 1部

- 第2位 井上めぐみ (米沢)
- 古内 華奈 (米沢)
- 第3位 青木美保子 (米沢)
- 中沢ひとみ (米沢)

●20歳代 2部

- 第2位 佐藤 良子 (南陽)
- 小林 睦 (南陽)



●30歳代 1部

- 第3位 情野登志子 (米沢)
- 鈴木恵美子 (米沢)

●30歳代 2部

- 第1位 涌井 節子 (米沢)
- 金田江里子 (米沢)

- 第3位 登坂恵美子 (米沢)
- 鈴木 智子 (米沢)

●40歳代 1部

- 第1位 佐藤 典子 (米沢)
- 高橋千代栄 (鶴岡)

●50歳代 1部

- 第1位 永岡 秀子 (米沢)
- 遠藤 暁子 (鶴岡)

- 第2位 磯部 幾子 (米沢)
- 須藤 澄子 (米沢)

●50歳代 2部

- 第3位 猪俣 陽子 (米沢)
- 高橋トシ子 (山形)



第10回OKITAMA OPEN

期日 平成11年3月28日

場所 米沢工業高校体育館

男子ダブルス

- 第1位 神保 一寿 (ヤングス)
- 第2位 渡部 智仁 (ヤングス)
- 第3位 淀野 誠 (日立米沢)
- 石沢 良則 (殖産工務所)
- 白幡 広司 (ヤングス)
- 皆川 芳久 (ヤングス)
- 中沢 正幸 (ヤングス)
- 近藤 雄一 (ヤングス)

女子ダブルス

- 第1位 山口美鏡子 (カチマス)
- 第2位 山口美地子 (カチマス)
- 第3位 井上めぐみ (山形科学薬品)
- 神田真里子 (いわき女子短大)
- 我妻 栄子 (協同薬品)
- 鈴木 育子 (ニノミヤ)
- 鏡 由美子 (NECライベックス)
- 高野 朋 (三ツ矢)

男子シングルス

- 第1位 石沢 良則 (殖産工務所)
- 第2位 神保 一寿 (ヤングス)
- 第3位 近藤 雄一 (ヤングス)
- 小関 勝也 (ヤングス)

女子シングルス

- 第1位 山口美地子 (カチマス)
- 第2位 山口美鏡子 (カチマス)
- 第3位 高野 朋 (三ツ矢)
- 井上めぐみ (山形科学薬品)

第21回県実業団大会

期日 平成11年4月4日

場所 NTT体育館

一部 東北電力 全国大会出場権獲得

第13回県家庭婦人連盟大会兼第17回全日本家庭婦人バドミントン大会県予選会

期日 平成11年4月17日

場所 県体育館

一部 五〇代

- 第2位 永岡 秀子 (アイリス)
- 須藤 澄子 (アイリス)
- 第3位 磯部 幾子 (アイリス)
- 猪俣 陽子 (アイリス)

二部

- 第1位 鈴木恵美子
- 中沢ひとみ

春一番ミックスダブルス

期日 平成11年4月25日

場所 南原小学校体育館

Aクラス

- 第1位 近藤 雄一 (ヤングス)
- 高野 朋 (アイリス)
- 第2位 白幡 広司 (ヤングス)
- 我妻 栄子 (協同薬品)
- 第3位 小関 勝也 (ヤングス)
- 佐藤 典子 (アイリス)
- 中沢 正幸 (東北電力)
- 井上めぐみ (山形科学薬品)

Bクラス

- 第1位 高橋 勲 (松川クラブ)
- 縮 亜希子 (万世クラブ)
- 第2位 鈴木 博美 (南部クラブ)
- 金田江里子 (鶴羽根)
- 第3位 多田 英俊 (松川クラブ)
- 多田 暁子 (松川クラブ)
- 高橋 善靖 (南原クラブ)
- 穴澤香菜子 (南原クラブ)

米沢バドミントン協会設立50周年記念大会「メモリアル50」盛大に開催

記念大会実行委員長 須藤 芳美

男女合わせて約90名と多数の参加を得まして盛大に開催された記念大会、常日頃と違いパートナーが抽選で決まる期待、不安もどこへやら、みんな和やかに、そして試合に入ると夢中で「勝ったの、負けたの」と、最後は又「わいわい」とバドミントンの仲間達。

当日は残暑厳しく、米工体育館もサウナ状態での大会に体もばてぎみになりましたが午後からの男女別ダブルス戦においても、それぞれに素晴らしい試合を堪能し記念大会を終了させていただきました。今後ともバドミントンを生涯スポーツとしてそれぞれの地区、クラブにおいて頑張ってください。最後に記念大会実行委員の皆様本当にご苦労様でした。

☆☆結果☆☆

期日 平成11年9月5日
会場 米沢工業高校

ミックスダブルスの部

- Aクラス 第1位 近藤雄一・井上めぐみ
- 第2位 梅津孝広・我妻 栄子
- 第3位 皆川芳久・神田真里子
- Bクラス 第1位 高橋 勲・縮 亜希子
- 第2位 安部 弘・川崎 清子
- 第3位 四釜 繁・中沢ひとみ
- 近藤健二・佐藤 典子

Cクラス

- 第1位 鹿野昭男・伊藤真理子
- 第2位 佐藤彰貢・猪俣 陽子

- 第3位 高橋 幹夫・近藤 良子
- 沢田 博・永岡 裕子
- Dクラス 第1位 牧野 輝彦・村上 雪枝
- 第2位 本谷 依士・滝口 紀子
- 第3位 植野 政弘・小森ますみ
- 小嶋 城弘・二宮 淳子

男子ダブルスの部

- Aクラス 第1位 中沢 正幸・梅津 孝広
- 第2位 小関 勝也・淀野 誠
- 第3位 近藤 雄一・中沢 正幸
- 高橋 祐介・遠藤 富博
- B・Cクラス 第1位 尾形 健明・宮口 等
- 第2位 四釜 繁・遠藤 富男
- 第3位 安部 弘・鈴木 博美
- 石倉 乾一・高橋 昌三

Dクラス

- 第1位 佐藤 修・本谷 依士
- 第2位 石田 知徳・小嶋 城弘
- 第3位 西塔 浩一・植野 政弘
- 海藤 雅之・内堀 宏佳

女子ダブルスの部

- A・Bクラス 第1位 高野 朋・吉田 由起
- 第2位 中沢ひとみ・井上めぐみ
- 第3位 佐藤 典子・我妻 栄子
- 縮 亜希子・穴澤香菜子
- Cクラス 第1位 我妻 珠恵・渡部えり子
- 第2位 堀内きみ子・永岡 秀子
- 第3位 松田 俊子・高橋 直子

Dクラス

- 第1位 村上 雪枝・本田 直美
- 第2位 近野たけ子・二宮 淳子
- 第3位 小森ますみ・渡部 彰子

●Cクラス

- 第1位 佐竹 忠昭 (山大職員)
第2位 菅野 陽子 (山大職員)
第3位 高橋 昌三 (南原クラブ)
石山和歌子 (南原クラブ)
相田 広之 (米沢市役所)
登坂恵美子 (米沢市役所)
高橋 幹夫 (松川クラブ)
永岡 裕子 (松川クラブ)

●Dクラス

- 第1位 本谷 依士 (南原クラブ)
小森ますみ (南原クラブ)
第2位 遠藤 喜一 (米沢養護)
後藤 敦子 (米沢養護)
第3位 西方 健一 (万世クラブ)
佐藤 淳子 (アクティーズ)
嶋村 志朗 (米沢養護)
佐藤みさ子 (米沢養護)

全国スボレク県予選会

- 期日 平成11年5月2日
場所 新庄市体育館
50歳代ミックス
第3位 近藤 健二
永岡 秀子

置賜地区春季高校総体

- 期日 平成11年5月8・9日
場所 米沢工業高校体育館
男子団体
第1位 米沢工業
第2位 長井高校
第3位 米沢興譲館
第4位 米沢商業
女子団体
第1位 米沢商業
第2位 米沢興譲館

第3位 米沢東

●男子ダブルス

- 第1位 浅香 治郎・横山 貴広 (米工)
第2位 中村 充宏・近 大輔 (米工)
第3位 井上 大祐・山王堂榮作 (米商)
佐藤 純・熊谷 岳仁 (長井)

●女子ダブルス

- 第1位 桑原ゆかり・大境 瞳 (米商)
第2位 高橋香代子・富樫 美和 (米興)
第3位 清水佳菜子・長谷川 舞 (米興)
大重 恵美・伊井 浩子 (米商)

●男子シングルス

- 第1位 浅香 治郎 (米工)
第2位 横山 貴広 (米工)
第3位 近 大輔 (米工)
中村 充宏 (米工)

●女子シングルス

- 第1位 尾形 英子 (米東)
第2位 桑原ゆかり (米商)
第3位 大境 瞳 (米商)
高橋香代子 (米興)

第23回山形県バドミントン
総合選手権大会

- 期日 平成11年5月16日
場所 米沢市営体育館
男子ダブルス
第3位 神保 一寿 (米沢養護)
渡部 智仁 (東北電力)
女子ダブルス
第1位 山口美鋭子 (城北女子)
山口美地子 (会芳産業)
第2位 我妻 栄子 (協同薬品)
鈴木 育子 (ニノミヤ)
男子シングルス
第1位 石沢 良則 (殖産工務所)

●女子シングルス

- 第1位 山口美鋭子 (城北女子)
ベスト8 山口美地子 (会芳産業)
井上めぐみ (山形科学薬品)
高野 朋 (三ツ矢)

第13回BSL米沢愛好者大会

- 期日 平成11年5月9日・6月27日
場所 米沢市営体育館

種別	1位	2位	3位
MAD	白幡店司(ヤングス)	梅津孝広(東部)	中條資郎(中條工機)
MAS	皆川芳久(東部)	遠藤富博(東部)	山川良樹(シリコン)
MBD	速藤浩司(無所属新)	鈴木博美(南部)	高橋 聡(田村電機)
MBS	新藤 保(無所属新)	斎藤慶一(南部)	安部一雄(シリコン)
MCD	四釜 繁(南部)	古内廣實(万世)	神足俊二(南部)
MCS	尾形健明(南部)	我妻豊美(万世)	宮口 尊(南部)
MDD	遠藤富男(スボラーズ)	相田広之(市役所)	松本宏志(日立米沢)
MDS	小方幸一(小森マシナリー)	海藤雅明(万世)	本谷依士(南原)
LAD	石田知徳(小森マシナリー)	西方健一(万世)	下垣峰雄(南原)
LBD	小方幸一(小森マシナリー)	内藤宏佳(小森マシナリー)	遠藤義見(鶴羽根)
LCD	我妻栄子(協同薬品)	佐藤典子(アイリス)	鏡由美子(アイリス)
LDD	鈴木育子(ニノミヤ電機)	情野登志子(アイリス)	高野 朋(アイリス)
	鈴木恵美子(アイリス)	吉田由起(南原)	青木美保子(東部)
	早坂丹貴子(アイリス)	穴澤香葉子(南原)	古内華奈(万世)
	沼 弘美(松川)	我妻珠恵(万世)	綿亜希子(万世)
	沖田愛子(松川)	澤田美恵子(万世)	
	落合幹子(米沢養護)	村上雪枝(スボラーズ)	多田曉子(ハッスル)
	後藤敦子(米沢養護)	本田直美(スボラーズ)	鈴木ちや子(ハッスル)
			竹田みゆき(万世)
			佐藤淳子(万世)

第7回ミックス・ダブルス
バドミントン山形大会

- 期日 平成11年5月23日
場所 県体育館

●MIX 50

- 第1位 近藤 雄一 (ヤングス)
高野 朋 (ヤングス)
第3位 中澤 正美 (東北電力)
我妻 栄子 (協同薬品)

第17回全日本家庭婦人バドミントン
競技会第一回クラブ対抗県予選会

- 期日 平成11年5月30日
場所 県体育館

第50回県高校総体

- 期日 平成11年6月4・6日
場所 県体育館

●男子団体

- 第3位 米沢工業
ベスト8 米沢商業

●女子団体

米沢市中学校総合体育大会

- 期日 平成11年6月19・20日
場所 南原中学校体育館
男子シングルス
第1位 佐藤 一人 (米二中)
第2位 大境 勝行 (米二中)
第3位 伊井 信義 (米二中)
高橋 嘉貞 (米二中)

●男子ダブルス

- 第1位 佐藤 一人・高橋 嘉貞 (米二中)
第2位 大境 勝行・伊井 信義 (米二中)
第3位 安部 裕一・佐藤 孝介 (米二中)
渡部 雅裕・鈴木 圭 (米二中)

●女子シングルス

- 第1位 山口美百子 (米三中)
第2位 伊藤 梓 (米二中)
第3位 鹿間 幸恵 (米二中)

バドミントンYONEZAWA

第31回 市民総合体育大会 バドミントン競技

■期日 平成11年8月29日
■場所 米沢市営体育館

地区対抗総合順位

1位	南部	125点	6位	広幡	41点	10位	上郷	14点
2位	万世	102点	7位	中部	38点	11位	窪田	9点
3位	万世	73点	8位	北部	34点	12位	松田	9点
4位	西部	61点	9位	三沢	28点	13位	田上	8点
5位	南部	48点	10位	愛宕	14点	14位	山	5点

	1位	2位	3位	3位
男子Aシングルス	近藤 雄一(南部)	安藤 孝幸(東部)	渡部 智仁(南部)	山口 正雄(西部)
男子Bシングルス	鈴木 博美(南部)	鈴木 秀幸(東部)	山口 正雄(西部)	水沼 充(西部)
男子Cシングルス	遠藤 富男(西部)	佐藤 彰彦(西部)	清野 義房(広幡)	奥山 長也(東部)
男子Aダブルス	中沢 正幸(万世)	小山田 佑司(南部)	遠藤 高橋(東部)	石倉 植野(北部)
男子Bダブルス	中條 資郎(西部)	浅香 大治(南部)	種部 寛彰(東部)	香坂 道雄(見人)
男子Cダブルス	尾形 健明(南部)	近藤 健二(南部)	古内 廣貴(万世)	沢田 芳美(万世)
男子Dダブルス	牧野 輝彦(万世)	下垣 幹雄(南部)	我妻 和彦(広幡)	海藤 雅明(万世)
女子Aシングルス	高野 典子(中部)	山口 美穂(西部)	片山 維子(愛宕)	我妻 由美子(上郷)
女子Bシングルス	古内 華奈(万世)	川崎 清子(東部)	石山 頼子(南部)	穴澤 菜子(南原)
女子Cシングルス	澤田 美恵子(万世)	須藤 澄子(東部)	松沢 恭子(東部)	近藤 良子(南部)
女子Dシングルス	松田 渡部(万世)	佐藤 淳子(東部)	滝口 紀子(中部)	田村 佳子(愛宕)
混合1ダブルス	皆川 芳久(東部)	多田 英俊(松川)		
混合2ダブルス	神足 俊二(南部)	仁科 盛信(南部)	水岡 秀子(南原)	丸太 和男(上郷)
小学男シングルス	小池 敬太(南部)	鈴木 康之(東部)	金沢 光佑(北郷)	手塚 和也(南原)
小学女シングルス	高梨 江美(南部)	斎藤 菜穂(広幡)	遠藤 あずさ(広幡)	加藤 愛香(東部)

混合ダブルス

丸山 勝美(鶴岡)
第2位 小関 勝也

青年男子シングルス

第3位 石沢 良則

青年男子ダブルス

出場 石沢 良則

成年男子団体

プロック2位 山形県

第26回 東北総体

成年男子で米沢から国体初出場！

第2位 長谷川圭太(長井スポ少)

第3位 佐藤 大樹

第2位 安部 享史

第1位 鈴木 康之(南部スポ少)

第2位 小池 敬太(南部スポ少)

第3位 我妻 弘一

第2位 五十嵐久人(長井スポ少)

第1位 沼沢さゆり(新庄)

第3位 神保 一寿

第2位 佐藤 俊広(山形)

第1位 鹿野 昭男

男子シングルス

一回戦 神保一寿 1-2 福田 寛
二回戦 石沢良則 2-0 村本幹夫(石川)
三回戦 石沢良則 2-0 村本和彦(栃木)
四回戦 石沢良則 0-2 藤本孝之(東京)

男子ダブルス

一回戦 神保一寿 1-2 村本幹夫(石川)
二回戦 石沢良則 2-0 福田 寛(滋賀)
三回戦 石沢良則 2-0 村本和彦(栃木)
四回戦 石沢良則 0-2 藤本孝之(東京)

壮年男子シングルス

出場 佐藤 俊広(山形)

壮年男子ダブルス

第2位 小関 勝也

第42回全日本社会人バドミントン選手権大会

期日 平成11年9月4-7日
場所 群馬県高岡市

男子シングルス

一回戦 神保一寿 1-2 村本幹夫(石川)
二回戦 石沢良則 2-0 福田 寛(滋賀)
三回戦 石沢良則 2-0 村本和彦(栃木)
四回戦 石沢良則 0-2 藤本孝之(東京)

男子ダブルス

一回戦 神保一寿 1-2 村本幹夫(石川)
二回戦 石沢良則 2-0 福田 寛(滋賀)
三回戦 石沢良則 2-0 村本和彦(栃木)
四回戦 石沢良則 0-2 藤本孝之(東京)

壮年男子シングルス

出場 佐藤 俊広(山形)

壮年男子ダブルス

第2位 小関 勝也

ルール改正

インターバル(90秒)について

◎1ゲームと2ゲームとの間に、90秒間のインターバルを設け、2ゲームと3ゲームとの間には、従来通り5分を越えないインターバルを設けることとする。

ア・サイドコーチについて、競技区域にはチーム1名とする。

イ・インターバルの始まりは、ラリーが終わって主審が、ゲームと宣した時から始まる。

ウ・選手達がやると言ったら、試合をやる。

エ・片方が取ると言っても、片方が取らないと言っても、90秒のインターバルは取る。

オ・コートを手離れてコートを受ける事は出来ないため、もし、助言を受ける場合は監督、コーチにコートの中に入ってもらう。

カ・ウェアの着替えを行なう際でも、やはりコート上で着替えなければならない。女子の場合などは前もって競技役員長が着替えのためにコートを離れることを認めた場合のみ、主審の許可を得て90秒の範囲内で着替える。

キ・残り20秒になったら、アドバイスしている人はコートから離れる。

服装規定について

ア・日本バドミントン協会の色付き審査合格品の運動用ウェアを着用すること。

イ・白一色の運動用ウェアの場合、競技役員長が競技の品位を保っているものであると認められたら、いまままでどおり審査合格品でなくても認められる。

ウ・ジャージ等のウォームアップウェアを着用してプレーする件ですが、元来ウォームアップウェアは審査合格品の対象でないで、着用してプレーすること自体が基本的に認められないが、大会の競技役員長が、色等の制限をつけて着用を認めた場合はこの限りではない。

エ・色付き着衣は、大会ルールで定めて良い。

オ・ズックについては、ウェアと同じ様に審査合格

品とする。

カ・ソックスについては、審査合格品としていないが、ケバケバしいのは使用できない。

ウエストラインについて

ア・選手の腕の肘を基準とする。

普通に腕を下に垂らした状態から、肘を直角に曲げた時の肘の下ラインである。

サーブの出し方

ア・コルクの最初に打つのだから手首を返すのは、フォルトである。

イ・サーブを打つとき、こするように打つのはフォルトではない。(コルクの部分での、スライスサーブ)

ウ・競技規則の第9条サービスの項で、良いもの以外は載せていないので、それ以外は全て、フォルトである。

プレー中の汗拭きについて

ア・プレーが中断しない範囲であれば良い。

(汗で塗れたコートをモップで拭いている間・相手がラケット交換をしている間・相手がシャトルを拾いに行っている間)

イ・一方のサイドがプレーの用意が出来ている場合は、今まで通り主審の許可が必要。

ネット上のシャトルをプッシュ時のラケットについて

ア・打った後に、ラケットが出ててもフォルトではない。

イ・打つ前にラケットが、相手側に入ったらフォルト。

ウ・ラケットがネットに触れてしまえば、その時点でフォルトである。

エ・安全策としては、ブラッシングストロークである。

その他

ア・シャトルの羽根を、手で直す・肘又はラケットのグリップで羽根を広げる・息をかけるなどはフォルトである。

イ・相手に対して、こぶしをあげるのは警告ととるが、その後はフォルトをとる。

